



林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

フェスティバルは大盛況!

令和6年10月26・27日(土日)の2日間、釧路市観光国際交流センターで、5年ぶり3回目の「くしろ木づなフェスティバル2024」が開催されました。

釧路市(釧路・阿寒・音別)の豊かな森林資源を活用するため、木材の供給側から需要側までの幅広い関係者により、平成22年に「釧路森林資源活用円卓会議」が設立され、「地域内での地域の木材消費向上」を目指した様々な取組みが行われており、今回の催しは、木を「見て」「触れて」「感じる」体験を通じて、釧路の「木づな」を創り、釧路産木材の積極的な活用を促すことを目的として開催されました。



▽開会式の丸太カットの様子



▽高性能林業機械実演の様子



▽根釧西部署と当センターブースの様子



▽完成した作品の様子

この2日間は、道産材を使った車作りや木のたまご作り、トドマツやカラマツを使ったアロマウオーター作り等、38ブースが展開されており、多くの来場者で賑わっていました。

また、ステージではオープニングの「丸太カット」を始めとして、釧路産材で作成されたヴァイオリンの演奏やダンス、「森林戦士セバスチャンショー」等が行われました。一方、屋外では高性能林業機械の試乗やチェーンソーアートが行われており、多くの来場者が迫力のある実演を見学していました。

当センターは、根釧西部森林管理署のお山ん画とリン子ちゃん等の身大パネルの展示と併せて、マツボ

ックリやドングリ、木の枝等の森林の素材を使った木工クラフトを開催しました。

2日間で、約100名の親子連れや子どもたちが、タンチョウやエゾシカ、ミニツリー等、思い思いの作品を楽しそうに作っていました。また、ご家族での力作もあり、見ごたえある作品がたくさん完成していました。

5年に1度という「くしろ木づなフェスティバル」に参加し、釧路の森林・林業・木材産業関係者と地域住民との賑わいを感じるとともに、多くの子どもたちに森林の恵みに触れてもらい、少しでも森林や木材に興味を持ってもらえれば良いと思います。

秋の装いが遅れている 樹木たちを観察しました

令和6年10月23日(水)、中標津町緑ヶ丘森林公園で、今年度3回目の「雷別ドングリ倶楽部」を開催し、会員18名の参加を得て自然観察を行いました。

この公園は、中標津町市街地の北部に隣接する町有林の中にあり、園内のほとんどが天然林で、キャンプ場や散策路等が整備された町民憩いの場となっています。

まず始めに、当センター職員が園内にある約20本の見本木を解説しました。この見本木は、昭和60



▽見本木の解説を聞く参加者の様子

年の国際森林年にアサダ、ヤチダモ、エゾヤマザクラ等が、当時の根室支庁と緑化推進委員会により記念植樹されたものです。

続いて、園内の散策路へ歩みを進め、林内の樹木を観察しました。会員の方々は、熱心に樹木解説に耳を傾けながら、自然観察を満喫している様子でした。

「紅葉が遅れていたが、園内が素晴らしかった。」「違う時期に訪れたい。」等の声が寄せられていました。

当日は、雨予報でしたが、昼食時まで雨は降らず、当センターの「テレル坊主」君も活躍しました。



▽園内の樹木解説を聞く参加者の様子

どんぐりさんの成長日記

当センターでは、今年の秋に雷別国有林で拾ったドングリを育てています。

9月下旬にポットに、ドングリを植えたところ順調に成長しており、10月下旬頃からは、新芽のような緑色のものがうっすらと見え始めました。

最近では、ドングリの皮が裂けてきて、緑色が濃くなってきました。今後の成長が楽しみです。

今後も、どんぐりさんの続報をお届けできればと思います。



▽新芽が出てきているドングリの様子



林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

国民の森林・国有林

当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。

